

エコニュース さって



第 51 号

平成 25 年 11 月 6 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

幸手小学校「ゴーヤ（緑）のカーテンづくり 2013」 観察記

報告：「ゴーヤそだて隊」 高久

5月28日（火）に幸手市長さんに参加していただき6名の児童と共に、職員室側花壇に高さ4mのネットを3張りし、12株のゴーヤの苗を植えました。これは「エコライフDAY」運動の一環として夏期に“緑のカーテンづくり”を推進し、地球温暖化防止に役立てようとするものです。今年の苗は、昨年幸手小学校で取れたゴーヤの実から取った種を“さって市民環境ネット”の会員が発芽させたものを一部使用しました。ゴーヤの苗は植えた当時は10数センチだったのが3週間で1mを超えるまでに成育しました。1ヶ月目の6/28には166cmになり、7/1に始めて3個の実が成りました。昨年より約3週間も早い成育です。7/7に2mを超え、7/18には大きくなった実を2個初収穫しました（昨年は8/8）。この頃にはツルも3mを超えました。この間、6月初めに5株の苗の芽がナメクジに食われてしまうトラブルもあり、新しい苗と植え換えました。2ヶ月経過した7/28にはツルもネットの一番高い4mまで伸びました。この頃には、ツルのあちこちに実が成りその都度、収穫して先生にお渡ししました。猛暑続きの8月の後半に入り、ゴーヤの葉が黄色くなってきましたので追肥（ハイポリックス）しました。その頃の収穫は実が高いところに成っているのを、園芸用高枝鋏を使用して取りました。9月に入り天候不順から雷雨が続き、9/2には越谷、他で竜巻が発生しましたがゴーヤには影響しませんでした。ゴーヤの葉も大分枯れてきました。それでも、9/3に8個、9/10に7個収穫できました。9/16の台風18号の本土上陸により、関東地方も昼過ぎに通過し、強風に見舞われましたがゴーヤのネットは大丈夫でした。しかし、ゴーヤも大分疲れて元気がなくなってきましたので、9/20に校長先生にはお忙しい中、お手伝いをいただきながらネットの撤収を行いました。5月28日から始めたゴーヤの観察も117日間で65個の実を収穫し、成熟しすぎた黄色くなった実（37個）から289粒の種を取ることが出来ました。この種（3世）を来年4月下旬に撒き発芽させて今年同様に育てていきたいと思ひます。

最後に、今年も幸手小学校教職員のみなさんにいろいろとご協力をいただきましたことを、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



市長の支援で児童
と植えました



4mまで伸び、実は上
の方に成ってます！

南公民館「ゴーヤ（緑）のカーテンづくり 2013」 観察記

報告：「ゴーヤそだて隊」 唐澤

6 月 1 日（土）9 時集合、今年は児童館の窓の全面を緑のカーテンにするため、4 m ネットを 5 張り、苗を 30 株用意しました。12 個のプランターに 2 株ずつ、残り 6 株を地植えにしました。参加者 5 名で全ての作業を 3 時間で終わりました。その日の夕方から 10 日間は、毎夕方の水やり（公民館の職員さんも手伝ってくれました。）をしたことによって、当初、15 cm だった苗も 10 日目には、大きいのは 60 cm にもなり順調に育ちました。しかし、6 月 18 日に道路に近い西側のプランターの 4 株と地植えの 2 株の葉が黄色くなってしまったので黄色の葉、また伸びた芽を摘みとって見ました。その後に、周りの草取りと根元に腐葉土を足しました。

月末に全株に追肥しましたが、その時には 60 cm だったツルは 130 cm に伸び、全株に沢山の花が咲き、4、5 cm の小さな実を 30 個も付けていることを確認できました。

7 月初めから半ばになるとツルは 160 cm に伸び、実も 10 cm と順調に生育していました。

西側の 4 株は垣根と草の陰で葉は黄色く茎も細く伸び悩んでいる様子でした。草をとり腐葉土と肥料を混ぜて予備の苗と植え換えました。7 月 30 日、ツルの高さが 290 cm に伸び、立派な緑のカーテンの役目を果たしていましたが、実は小粒で数えるのに大変なくらい沢山なり、最初につけた実は 12.3 cm で赤くなりパンクしていました。8 月 26 日には児童館に「さって市民環境ネット（ゴーヤそだて隊）」、「省エネ（節電）に協力下さい」のポスターも張り、受付の窓口には利用者の要望に応じて隊員のアイデアで「ゴーヤを美味しく食べる料理方法」のレシピもゴーヤの実と一緒に置かせて貰いました。利用者の皆さんには大変な好評な様子を受付の方からお聞きして嬉しく思いました。この頃には、大・中・小を合わせ、赤くパンクしたものを含めると 130 個以上収穫できました。8 月末には、ツルも 4 m を超え、ゴーヤの実も 150 個を超えました。

9 月に入り、2 日、4 日の雷雨、7 日の 17 号台風にも耐えていたゴーヤカーテンも 15 日～16 日の台風 18 号には生育が遅かった西側の隙間から風にあおられてネットごと落ちてしまいました。

9 月 20 日午前、6 名が参加してネットに巻きついたツルを外し（来年、ネットは再使用）と後片付けを行い今年の活動を終了しました。4 ヶ月間の活動に協力下さった職員の方々と隊員の皆さんに感謝いたします。有難うございました。



3 m 以上に伸びました！



レシピ付きで美味しく食べて頂きました！

第 100 回腐葉土づくりの会

報告：澤村

畑の草取り、奥マメの追肥と土寄せ、サツマイモの 2 回目、3 回目のつる返しを実施！
熟成腐葉土の頒布と畑への散布！

- ・臨時開催：日時と場所：8 月 4 日（日） 午後 5 時集合、晴 畑。17 名
- ・定期開催：日時と場所：8 月 18 日（日） 午後 4 時半集合、薄曇り、爽やかな風。
畑作業終了後、桜泉園へ。20 名

8 月 4 日臨時開催でしたが、17 名も参加しました。事務局から作業案内に従い、畑の草取りをした後、続いて気持ち程度の追肥（化成肥料、チッソ：リン酸：カリ＝8：8：8）と土寄せ作業を行いました。また、サツマイモの 2 回目のつる返しと土寄せを行いました。梅雨が早く開け猛暑続きでしたが、幸い、2 日前の豪雨で表土が適度に水分を含み作業がスムーズに進みました。ただ、猛暑でしたので 5 時になってもまだ大変蒸し暑く、皆、汗をかいての作業でしたが、全員の協力で 6 時前に作業を終了することができました。

8 月 18 日定期開催では、事務局が前日、過去、2 回、体調不良で欠席されていた原田 進さんが、8 月 5 日、突然の逝去されたことを知り、冒頭、会長の音頭で原田さんのご冥福を祈り黙祷しました。

なお、原田さんは事務局次長としていつも先頭にたって作業をしてきていましたので、非常に残念でたまりません。

会長から「エコライフ DAY」のチェックシート回収と「浮きウキフェスタ 25」の案内方・参加依頼があった後、事務局からの作業案内に従い奥マメ畑とダイコン栽培用畑の草取り、サツマイモの 3 回目のつる返しを行いました。8 月 4 日から 2 週間しか経ってないのに雑草の勢いに逞しさを感じました。

その後、桜泉園に移動して熟成腐葉土の頒布と更に 9 月のダイコン、11 月のタマネギの栽培用の畑に熟成腐葉土を散布しました。ダイコン播きは、9 月初めに予定しましたが、地主の都合から、次回は 9 月 15 日に開催することになりました。

第 101 回腐葉土づくりの会

報告：澤村

熟成腐葉土頒布と今年度最初の落ち葉仕込み！ 初めてのダイコン播き実施！

- ・日時と場所：9 月 22 日（日）9 時集合、晴 桜泉園での腐葉土作業後畑へ移動。19 名

会員の皆さんの合意によって初めてのダイコン栽培をすることになり、ダイコンのタネ播きは 9 月 15 日を予定しましたが、15 日は台風のため延期して 22 日は開催する結果となりました。延期で参加人数が心配でしたが、19 名も出席しました。またダイコンの種類にも播く時期にいろいろあることをタネ屋さんで聞いて千州ダイコンにしました。

当日は、先ず桜泉園に集まり、冒頭、会長から「行幸湖浮きウキフェスタ 25」の 10 月 27 日参加募集案内があった後、事務局から「エコニュースさって」第 50 号の配布があり、50 号には「行幸湖浮きウキフェスタ 25」開催と「腐葉土づくりの会」の多くの活動内容が記載されている旨の報告がありました。

桜泉園での作業は、手分けして熟成腐葉土の頒布と既に環境課に集めて頂いた落ち葉の今年最初の仕込みを行いました。仕込みには発酵促進剤に新井さんから頂いた米ぬかとジョイフル本田で購入した鶏糞を挟み、水を十分に散布しました。終了後、全員が畑に移動しました。

ダイコンのタネ播きは、中村（勝）リーダーの指導のもとに 4 本の畝づくり、約 30cm 間隔でジュース缶を使って 1 cm 程度の深さで凹を作って、一つの凹の三角形の頂点に 3 粒

のタネを播き、手平で土を揉みながら凹を被せ、更に新井さんから頂いたもみ殻、ジョウロで水、そして少量の化成肥料を散布し終了としました。



また、11月にタマネギを移植予定の畑の草取りを全員で行いました。最後に、サツマイモの試し掘りして6本が略生長していることを確認しました。事務局から、10月13日(日)奥マメの収穫、20日(日)サツマイモ掘りを行うことを報告して散会しました。

第 102 回腐葉土づくりの会

報告：澤村

奥マメの大収穫！ ダイコンの間引き！ 今年度2回目の落ち葉仕込み！

- ・日時と場所：10月13日(日) 9時集合、快晴 桜泉園での落ち葉仕込み後畑へ移動。27名

前の2日間が真夏日でしたが、秋らしいそう快な日でした。久保田会長からの「行幸湖浮きウキフェスタ 25」の再度の参加募集案内、「市民健康福祉祭り」への「環境コーナ」への当会の参加、環境課主催の「環境学習会見学会」への公募への腐葉土づくりの会各位の参加募集等の連絡があつてから、事務局から作業概要の案内があり、各リーダーの指示で作業を行いました。

既に環境課に集めて頂いた落ち葉 15 箱分を使って第2回目の落ち葉仕込みを行いました。終了後、畑に移動して、中村(勝)のリーダーの指導に従って草取り、ダイコン間引き、奥マメの収穫を行いました。

特にダイコンの間引きは、前回、各凹に3粒のタネを播き、3本の苗が育っており、中村リーダーから、最も元気な苗を1本イタメない様に残して他の2本を抜き(持ち帰って味噌汁の具等に利用)、土寄せ行う作業の指導があり慎重に行いました。その後、少しの追肥(化成肥料)を行い、年末・年始の収穫を楽しみにして終了しました。

奥マメは、茎は少し小ぶりでしたが、数えるのに大変な程に実っていました。男性群が腰を痛めないように根元を持って「ヨイショ」と言いながら、一株ずつ抜き、根元から木バサミで根を切り落として、10株を一束にして約60束のヤマをつくり頒布しました。一人3束、4束欲しいという方もいて瞬く間に全て頒布されてしまいました。今年は、株間を広めにして、開花時に消毒をしたのが適切で、心配していた虫の付きも少なくて良かったと思います。なお、都合が悪くて欠席された方への頒布、環境課、駐車場を借りているDICフィルテック㈱、地主、新井さん(技術顧問)にも差し上げました。

【会員募集中！】 環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。

是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み ★ 久保田 修(代表)まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園 20 期)